

ジャンボタニシの **秋冬** 対策

～早めの対策が肝心です～



来年のジャンボタニシの被害防止には、稲を食害する **ジャンボタニシの成員の越冬を防ぐ**ことが効果的です。

1 土が固い時の耕うん（秋耕）

土が固い状態での耕うんは、効率的に成員を破碎し、殺傷に有効です。

- ① 作業速度は**通常より2～4割遅く（時速1.4km以下）**
- ② ロータリーの**回転数は早く（PTOギア2速）**
- ③ ほ場全面を残さず耕うんする。



2 厳寒期の耕うん（冬耕）

ジャンボタニシは寒さに弱いため、厳寒期（12月下旬～2月）に耕うんすることで、掘り起こした貝を寒気にさらして殺します。

- ① 複数回耕うんする場合は、1か月程度期間を開けて耕うんする。
※ 掘り起こした貝を土中に戻すことを防ぐため

3 石灰窒素の秋散布

石灰窒素には、貝を殺す効果があります。
水温15度以上の時期（概ね10月中旬まで）に散布します。

- ① 湛水状態（3～4cm）で数日間放置
- ② 石灰窒素を10a当たり20～30kg散布
- ③ 数日間放置して自然落水
※ 魚介類にも毒性があるので、水は水路に流さない。
※ 翌年コシヒカリを栽培する場合、粘土質のほ場の場合は、
基肥窒素を10a当たり1kg程度減肥する。



不明な点は、千葉県夷隅農業事務所まで御相談ください。

TEL 0470-82-2213（改良普及課）

夷隅地域農林業振興協議会

（勝浦市 いすみ市 大多喜町 御宿町 JAいすみ 夷隅農業事務所）